

気候市民会議つくば2023

設計・運営ワーキンググループ

国立環境研究所	松橋 啓介
環境政策対話研究所	村上 千里
ユニベルシタスつくば	徳田 太郎

気候市民会議つくば（CAT）概要 ①

ベスト・プラクティスをめざして…

◆**日程**：2023年9～12月、計6回
（いずれも日曜・13～17時）

◆**対象**：二段階の無作為抽出による、
16歳以上のつくば市民50名

◆**主催**：気候市民会議つくば実行委員会
（共催：つくば市・産業技術総合研究所・国立環境研究所・筑波大学）

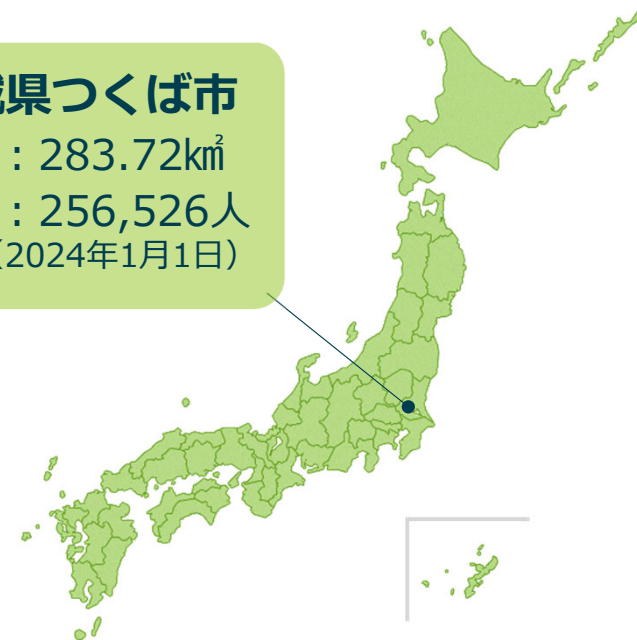
◆**企画**：設計・運営ワーキンググループ
（国立環境研究所・環境政策対話研究所・ユニベルシタスつくば）

8月までの7ヵ月で、計18回の会議を実施。*24年2月までに、計30回の会議を実施。

茨城県つくば市

面積：283.72km²

人口：256,526人
（2024年1月1日）



全6回のゴール

◆アウトプット

「2050年に〈ゼロカーボンで住みよいつくば市〉を実現するために、市と市民（地域・事業者）には、どのような取り組みや施策が必要となるか？」が明らかになり、提言書にまとまっている。

◆アウトカム

提言を前に、

「これなら確かに〈ゼロカーボン〉と〈住みよいつくば〉が両立するなあ」

「これならこの場にいない市民にも納得・共感してもらえるなあ」

「ここに書かれていることを実現したいなあ」と思っている。

各回のゴール

◆第1回

2050年の〈ゼロカーボンで住みよいつくば市〉像のイメージが得られている。

◆第2回～第4回

3つのテーマ—①移動・まちづくり、②住まい・建物、③消費・生活—ごとに、
提言素材（要素とその選好度）が得られている。

◆第5回

全テーマの提言案（内容とその支持率）が得られている。

◆第6回

全提言（文言とその支持率・支持強度）が確定し、提言書が完成している。

気候市民会議つくば（CAT）特徴

包摂性・多元性・実効性の担保をめざして…

- ① 徹底した事例調査・試行実施に基づく会議設計
 - ② 参加者に対する、成果の確実な取り扱いの約束
 - ③ 応諾率の高さによるミニ・パブリックスの実現
 - ④ 幅広いパブリック・コンサルテーションの実施
-
- ⑤ 「地の利」を活かした、充実した〈学習〉提供
 - ⑥ 手厚いファシリテーションによる〈熟議〉実現
 - ⑦ 「共通基盤」を顕在化する〈投票〉方法の採用

徹底した事例調査・試行実施に基づく会議設計

◆事例調査

- ・ユニベルシタスつくば「世界の気候市民会議研究会」
国外17事例の文脈・組織・運営・効果を分析（22年1月～23年6月）QR①②
- ・国立環境研究所＋環境政策対話研究所「気候市民会議 基本設計整理表」
国外2・国内4、計6事例の基本設計を整理（23年4月）QR③



◆試行実施

- ・つくば・市民ネットワーク「気候みらい会議 in つくば」
（協力：ユニベルシタスつくば、環境政策対話研究所）
市民主導による、無作為抽出の会議体の試行（22年7月）QR④



参加者に対する、成果の確実な取り扱いの約束

◆Remit（参加者に提示する「問い」）

「2050年に〈ゼロカーボンで住みよいつくば市〉を実現するために、市と市民（地域・事業者）には、どのような取り組みや施策が必要となるか？」

◆Impact & Commitment（参加者に約束する「成果の取り扱い」）

提言書の内容は、「第3次つくば市環境基本計画」の見直し（24年度を予定）、「つくば市地球温暖化対策実行計画・区域施策編」の改定（25年度を予定）などにおいて、素材として活用される。

提言については、もれなく必ず対応される（採用されない提言については、理由が明らかにされる）。

応諾率の高さによるミニ・パブリックスの実現

- ◆ミニ・パブリックスの構成には、参加者数の10倍の応諾が必要（newDemocracy）
→案内5,000通、回答1,146件、応諾569名（11.38%）、50名選出（11.38倍）。
* 層別の基準：年齢・性別・地域・気候変動への態度 * ツール：Panelot

要因：謝礼（現金6,000円／回＋特産品）

参加に対する支援（介助・託児等）

家族の応募の容認

全提案反映の約束

市長の手紙の同封

封筒の意匠の工夫

市民の関心の高さ

	案内(a)	回答(b)	応諾(c)	c/a	選出(d)	c/d
札幌	3,000通	48名	39名	1.30%	20名	1.95倍
川崎	3,201通	247名	92名	2.87%	75名	1.23倍
武蔵野	1,500通	288名	42名	2.80%	41名	1.02倍
所沢	4,500通	600名	111名	2.47%	51名	2.18倍
江戸川	1,500通		14名	0.93%	14名	1.00倍
多摩	2,000通		45名	2.25%	39名	1.15倍
厚木	3,000通	430名	80名	2.67%	52名	1.54倍
逗子葉山	3,300通	373名	106名	3.21%	46名	2.30倍
日野	4,500通		154名	3.42%	40名	3.85倍
つくば	5,000通	1,146名	569名	11.38%	50名	11.38倍

幅広いパブリック・コンサルテーションの実施

〈抽選代表〉に加え〈自選代表〉の役割にも着目する市民会議観に準拠。
（会議への参画方法として「会議の参加」と「意見の提案」の2つを提示）
「ゼロカーボンで住みよいつくば市」像、および実現へのアイデアを募集。

◆第1次アイデア募集（6月1日～7月25日）

57件の投稿。主に、テーマ設定の資料として活用。

◆アイデア募集 ～夏休み特集～（7月15日～8月18日）

小学生～大学生対象。13件の投稿。主に、第1回会議の資料として活用。

◆第2次アイデア募集（9月5日～9月21日）

24件の投稿。主に、第2回～第4回会議の資料として活用。

「地の利」を活かした、充実した〈学習〉提供

◆ **第1回：総論**

国立環境研究所：江守正多・増井利彦、つくば市：大見一裕

◆ **第2回：テーマ1（移動・まちづくり）**

国立環境研究所：松橋啓介・近藤美則・芦名秀一、筑波大学：藤井さやか

◆ **第3回：テーマ2（住まい・建物）**

芝浦工業大学：磐田朋子、産業技術総合研究所：本田智則、
国土技術政策総合研究所：宮田征門

◆ **第4回：テーマ3（消費・生活）**

国立環境研究所：金森有子・小出瑠・田崎智宏 (いずれも敬称略)

手厚いファシリテーションによる〈熟議〉実現

◆包摂性の確保：発言の偏りを防ぐ

（その場の全員の声が、相互に聴かれるようにする）

◆多元性の確保：意見の偏りを防ぐ

（公平性を保ちつつ、集団の同調・極化・浅慮を避ける）

→ 50名・9Gに対し、経験豊富な12名のファシリテーター・チームを編成。

→ 23年1月～10月に、隔週で計21回、

Kimbra White, Nicole Hunter and Keith Greaves (2022)

Facilitating Deliberation: A Practical Guide, MosaicLab. の読書会を実施。

「共通基盤」を顕在化する〈投票〉方法の採用

◆第2回～第4回：シール投票で8票以上を獲得したアイデアをすべて抽出

◆第5回：上記アイデアを吟味の上、賛成／保留／反対の3段階で投票

「賛成」が80%以上 … 【提言案】に掲載

「賛成+保留」が80%以上 … 改善を前提に【提言案】に掲載

◆第6回：上記【提言案】を吟味の上、以下の7段階で投票

- | | | |
|------------------------|---|-------|
| 1) 強く同意する (3点) | } | 支 持 |
| 2) 同意する (2点) | | |
| 3) いくつか疑問があるが同意する (1点) | | |
| 4) 多くの疑問がある (0点) | } | 不 支 持 |
| 5) やや同意できない (0点) | | |
| 6) 同意できない (0点) | | |
| 7) まったく同意できない (0点) | | |

- ・第1条件：
参加者の80%以上が支持
(1～3に投票)、かつ
 - ・第2条件：
点数の平均値が1.75以上
- 【提言】として採択

74の提言（最終日の投票で、87案のうち74案が採択・13案が不採択）

- ◆バスを利用しやすくするために、市や事業者は、バスの経路・遅延・位置情報などを分かりやすくするしくみ（交通アプリやバス停に表示）を入れる（98%・2.65p）
- ◆事業者は、建物を建てる際にはBELS（建築物省エネルギー性能表示制度）の高い基準を満たす（98%・2.12p）
- ◆《ゼロカーボンな商品・サービスが普及するように、》市を含む事業者は、カーボンフットプリントが小さい製品を選ぶ・購入する（98%・2.37p）
- ◆市民の選択を支援するために、国は、カーボンフットプリントの表示を製品等に義務付ける（98%・2.30p）
- ◆食品や農産物のロスをなくすために、市は、規格外の農産物を安く売る店をつくったり、給食等で使うしくみをつくる（98%・2.42p） など

提言書



気候市民会議つくば（CAT）結果 ②

5段階評価のアンケートで、全員が「3」以上を選択（n=38）

◆提言は、あなたの思いや考え、意見が反映されたものにできましたか？



◆提言は、参加者みなさんの思いや考え、意見が反映されたものにできましたか？



◆提言は、〈ゼロカーボン〉と〈住みよいつくば〉が両立するものにできましたか？



◆提言は、この場にはいない市民にも納得・共感してもらえるものにできましたか？



◆提言した内容が実現してほしい、実現したいと思いませんか？



よくできた／そう思う ←

→ よくできなかった／そう思わない

市長のコミット、担当課の決意

◆五十嵐市長：

提言書受領の際、「74の提言すべてに対し、ロードマップを作成して対応する」と約束

◆環境政策課：

「地球温暖化対策実行計画・区域施策編」の改定作業を、25年度→24年度に1年前倒し

